

平成20年12月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 岩 谷 政 良

市 民 ク ラ ブ 齊 藤 勝

フ ォ ー ラ ム 2 1 伊 藤 巧 一

社 会 ・ 市 民 連 合 猪 股 竹 作

公 明 党 近 江 喜 博

秋 水 会 小 野 寺 誠

フ ォ ー ラ ム 2 1 佐 藤 哲 治

秋 水 会 齊 藤 善 悦

秋 水 会 小 木 田 喜 美 雄

1 市長の政治姿勢について

- (1) 今後の本市が向かうべき方向性について
- (2) 来年度の知事選を含む佐竹市長の進退について
- (3) 21年度予算の編成方針について
- (4) 時代に沿った組織の構築について
- (5) 女性管理職の登用拡大について

2 地球環境問題に対する本市の施策について

- (1) 環境教育、環境学習の推進について
- (2) 本市の事務事業に係る温室効果ガスの排出状況及びその削減に向けた取り組みについて
- (3) 各家庭及び事業者に対して温室効果ガスの排出抑制を促すための具体的な取り組みについて
- (4) 地球温暖化対策に向けた部局間の連携強化について

3 樹木の維持管理について

- (1) 千秋公園内の桜の更新計画及び樹木の維持管理について
- (2) 街路樹について
 - ア 樹種選定の経緯について
 - イ 街路樹愛護のための地域との連携について

4 教育環境について

- (1) 本市の小中学生の携帯電話所持の実態について
- (2) 携帯電話の所持のあり方及び有害サイトから児童生徒を守るための対応に関する各小中学校への指導について
- (3) 本市の中学校における暴力行為の実態について
- (4) 学校や教職員では対応困難な問題への対処について

(5) 学校施設について

- ア 学校施設の維持に係る修繕費について
- イ 小中学校からの修繕要望について
- ウ 学校施設の維持に係る修繕費の増額要望について

5 第4次秋田市行政改革大綱について

- (1) 主な取り組みとコスト縮減効果について

6 全市一斉通学路パトロールについて

- (1) パトロールの成果について
- (2) ハード面の整備や修理が必要な箇所への対処について
- (3) 地域住民への周知及びパトロール終了後の意見交換について
- (4) 今後の事業展開について

7 ふるさと納税制度について

- (1) これまでに寄せられた寄附金の状況について
- (2) 首都圏在住者へのPR活動について
- (3) 市外在住の本市職員への支援の呼びかけについて

1 市長の政治姿勢について

- (1) 新総合経済対策の本市への波及効果について
- (2) 定額給付金への対応について
- (3) 中小企業への支援策について

2 秋田駅 - 土崎駅間の新駅構想について

- (1) 市民ニーズの認識について
- (2) 新駅の波及効果に対する認識について
- (3) これまでの取り組みと今後の方針について

3 中通一丁目地区市街地再開発事業について

- (1) (仮称)秋田市にぎわい交流館のにぎわい創出効果について
- (2) 公共公益施設と商業施設の連携について
- (3) 商業施設におけるテナントの誘致状況に対する認識について
- (4) 本事業の将来性について

4 救急業務について

- (1) 救急隊の現場到着時間がおくれている要因と対策について
- (2) 位置情報通知システムの導入について

5 市立秋田総合病院における医師確保について

- (1) 医師不足により麻酔科の外来が休診しているが、緊急の手術などへの対応に支障はないのか
- (2) 医師確保の取り組みについて

6 地域における行政サービスについて

- (1) 地域センター職員が住民自治の発展に貢献していると思うがどう

か

- (2) 地域センターのコミュニティセンター化により、地域から職員を切り離すことは、住民自治の後退を招くのではないか
- (3) 地域センターにおける戸籍等の交付について
 - ア 即日発行している御野場地域センターの仕組みについて
 - イ 要望のある地域センターにおいては戸籍等の即日発行をすべきではないか、また、できないとすれば、その理由は何か
- (4) 地域住民の声を聞きながら、地域センターのあり方を検討すべきではないか

7 斎場について

- (1) 住民の合意形成について
- (2) 住民意見の集約と基本設計への反映について
- (3) 斎場整備にあわせた道路整備等について

1 市長の政治姿勢について

- (1) これまでの市政運営をどのように自己評価しているのか
- (2) 来年7月の任期まで市長職を全うするのか

2 ふるさと納税制度について

- (1) 本市ではどのような呼びかけ運動を行ったのか
- (2) 今後の取り組みをどう考えているのか

3 交通アクセス網について

- (1) 他都市との交通アクセス網の整備促進について

4 新庁舎建設について

- (1) 市民サービスセンター機能との整合性を踏まえた建設計画について

5 農業振興について

- (1) 農林部を河辺・雄和両市民センターに移転し、農業試験場とタイアップした農業振興を図るべきではないか

6 危機管理について

- (1) 本市沿岸に津波警報が発表された場合の対応について
- (2) 津波危険マップ等は作成しているのか
- (3) 災害発生後の救援活動マニュアル等を作成しているのか
- (4) 備蓄している緊急救援物資や災害時の飲料水・生活用水の供給は、どのくらいの被災者に対応できるのか

7 雄物川の一斉クリーンアップについて

- (1) 年内に一斉クリーンアップは行うのか

- (2) 各市町村や協力団体と協議し、意識の統一を図りながら、来年の春先に実施することはできないか

8 原油漏出問題等について

- (1) 現在どのような管理をしているのか
- (2) 工事や経費について、今後どのように対応するのか
- (3) 被害が拡大した場合の取り扱いはどうなるのか
- (4) 原油の活用方策を研究することはできないのか

9 本田橋架け替え事業における財政見通しについて

10 雄和火葬場について

- (1) 雄和火葬場を存続させない理由は財政事情によるものなのか
- (2) 指定管理者制度の導入や民間への有償または無償譲渡など幅広い検討を行わないのか

11 路線バス不採算路線について

- (1) 県の補助打ち切りによって、本市はどのような影響を受けるのか
- (2) マイタウン・バス北部線予約式乗合タクシーの予約及び利用状況について
- (3) 雄和地域における公共交通代替案3案の具体的な根拠について
- (4) 秋田市雄和地域公共交通研究会は今後どの程度開催するのか

12 レジ袋について

- (1) 家庭ごみの出し方の状況について
- (2) レジ袋は完全廃止になる見通しなのか
- (3) レジ袋の消滅が消費低迷につながり経済に悪影響を及ぼすことはないか

13 中通一丁目地区市街地再開発事業について

- (1) 総事業費のうち、各省庁からどの程度の補助が見込まれ、本市と県の持ち出しはそれぞれの程度になるのか
- (2) 整備後に本市が毎年負担しなければならない費用にはどのようなものがあり、その金額をどの程度と見込んでいるのか
- (3) 将来、市から民間施設への財政支援が必要となる状態に陥る心配はないのか
- (4) 本事業に対する再検討が必要ではないか

1 中通一丁目地区市街地再開発事業に対する市長の考え方と責任のとり方について

- (1) 日赤・婦人会館跡地ににぎわいを取り戻し、商業が活性化できるとする根拠は何か
- (2) 景気が後退し、全国的にも再開発事業の失敗が続き、本組合設立に同意しない地権者もいる状況で、事業を実施するリスクは考えていないのか
- (3) 商業施設や駐車場を含めて、事業中及び完成後に行き詰まれば、最終的に本市がすべての責任を負うことになるのではないかと
- (4) 本事業に対して市の最高責任者としてゴーサインを出す以上、市長は、みずからの債務負担など責任を明確に示す必要があるのではないかと

2 市町合併に伴う諸問題への対応と今後の対策について

- (1) 18年度包括外部監査における雄和農林漁家高齢者センター及び雄和ふれあいプラザに対する指摘事項への見解と対応について
- (2) 秋田市観光施設再編方針について
 - ア 各観光施設における委託費の内訳及び利用者数の推移はどうか
 - イ 再編方針に基づく見直し作業における議論の状況はどうなっているのか、また、見直しに対して反対意見が多ければ、そのまま税金を投入し続けるのか
 - ウ 河辺岩見温泉に対しては、委託費のほかに、これまで修繕費として約2,000万円が支出されているが、そこまで経費をかける必要があったのか
- (3) 地域審議会について
 - ア 臨時会や市長からの諮問事項もなく、形骸化し始めているのではないかと

イ 市議会に多くの議員が選出されており、市の一体化のためには早期に廃止すべきと考えるが、廃止の時期はいつごろと想定しているのか

(4) 旧河辺町における下水道等の生活排水処理施設整備に対する交付金の状況について

ア 町内会に対する交付金の交付状況はどうか

イ これまで交付金を活用して整備を終えた世帯数及び合計金額は幾らか、また、市のチェック機能はどのように果たされたのか

ウ 町内会における交付金の管理状況と会長変更時などのチェックはどのように行っているのか

エ 現在の町内会ごとの交付金の残金及び合計金額は幾らか、また、管理状況はどのようになっているのか

オ 交付金が支出されず町内会で管理されたままという状況はいつまで続くのか

(5) JR和田駅のエレベーターについて

ア 市内JR各駅の乗降客数とエレベーターの有無について

イ JR和田駅のエレベーターの運行費用及び費用対効果をどのように考えているのか、また、他駅とのバランス及び今後のあり方をどのように考えているのか

(6) 合併関連の課題については、担当部局に任せるのではなく、ある時点で全体方針をまとめ、議会に提示しコンセンサスを得ながら、早期に整理していくべきではないか

3 新型インフルエンザ対策について

(1) 新型インフルエンザ発生時の本市の被害をどのように見込んでいるのか

(2) 発熱外来の開設に向けた取り組みが進まないとされているが、現状はどうか、また、秋田市医師会との連携をどのように図っていくのか

(3) 外出禁止や移動制限などの状況になれば、経済的な面を初め市民生

活に大きな影響が出ると思われるが、どのような事態を想定し、対応策はどのように検討しているのか

(4) 市職員も危険な作業に従事することになるが、その対策はどうか

(5) 被害発生時の全庁的な危機管理体制はどのようなになるのか

(6) マスクを備蓄することなど個人でできる対策について、市民に対し、どのように啓蒙していくのか

4 治水、水防対策について

(1) 県及び本市が管理する河川の点検状況について

(2) 本市域における雄物川の堤防決壊に対する対策の強化について

ア 雄物川が決壊した場合の被害の予測はどうか

イ 住民への周知方法としてサイレンの設置が必要ではないか

ウ 河川がはんらんした際の浸水の深さや、洪水の避難場所を示す「洪水標識」の設置を検討すべきではないか

5 人事関係について

(1) 窓口の開庁時間延長の見直しについて

ア 窓口の開庁時間延長に係る利用実態はどうか

イ 利用実績の少ない課所室については、人員の配置のみならず、光熱費のむだにもつながることから、廃止を検討すべきではないか

(2) 障害者雇用の促進について

ア 本市の障害者雇用の状況はどのようなになっているのか、また、法定雇用率は達成しているのか

イ 障害者を対象とした採用区分を設けるべきではないか

1 市長の政治姿勢について

(1) 市長が政治家として目指すところはどこか

(2) 定額給付金について

ア 市民生活の現状をどう認識し、景気・経済状況をどう把握しているのか、また、本市における定額給付金の効果はどうか

イ 定額給付金の制度設計等について、どう対応するのか

(3) 佐竹市政２期８年間の総括について

ア 市長の在職８年を各分野の実績を踏まえ、どう総括しているのか

イ 市職員の意識変革と資質の向上は図られたのか

ウ 市長が目指した家族・地域の絆づくりの推進は図られたのか

(4) 平成21年度予算編成方針について

ア 市長選を考慮すると21年度予算について、本予算を組むのか、または、骨格予算を組むのか

イ 本予算を組むことは、引き続き市政を担うと理解してよいか

(5) 都市戦略について

ア 道州制についての考え方と道州制を見据えた本市の戦略について

イ 自治体は運営するのではなく、経営するという発想の転換が必要と思うが、自治体経営戦略の発想はあるのか

ウ 地域間の協働・共生を考えた事業の創出など、新たな協力体制構築をどう考えているのか

エ 自然・文化・地場を生かした独自性のある戦略立案を持っているのか

オ 地域におけるブランド戦略は、物だけではなくソフト面・サービス面でも適用できると考えるが、その取り組みはどうか

カ 観光産業は、地域活性化の重要な役割を担っていることから、独自の観光戦略を考えるべきではないか

キ 渤海国交流ロマンの発掘など、日本海沿岸都市観光戦略をどう考

えているのか

ク 石川好氏が進めている北前船コリドール構想をどう認識し、行政としてどのような支援をしていくのか

ケ 高齢化社会が進行する中、快適で便利な成熟した都市基盤をどう構築していくのか

コ 市町合併の総合評価をどう総括し、検証したのか

2 子育て支援について

(1) 認可保育所の保育料未納問題への対応について

ア 私立認可保育所に保育料納付指導員を配置した成果と課題について

(2) ゼロ歳児・1歳児に対する対応及び支援策について

ア 現在の待機児童は何人か、また、待機児童解消のため、どのような対応をしているのか、さらに、認定保育施設の活用をはじめ、抜本的な待機児童解消のための本市の考え方はどうか

イ 県で実施しているすこやか子育て支援事業について

(3) 認定保育施設に対する支援策について

ア 運営費や給食材料の価格高騰を考慮し、補助金の増額を検討すべきではないか

イ 認定保育施設の基準改正について

(4) 在宅子育てサポート事業について

ア 子育てサポートクーポン券の利用状況とプランの一部見直しを考えてはどうか

(5) こども交付金について

ア こども交付金制度に対する対応及び運用について

3 教育問題について

(1) 小中学校の学校選択制度と学区の再編について

(2) 中央公民館について

ア 日本生命保険相互会社から市教育委員会に対して、21年度以降の契約についての打診はあったのか

イ 中央公民館の利用者と商店街振興及び大町のまちづくりについて、どのような影響を与えるのかを検討したのか

ウ 移転した場合、地元大町商店街への影響及び移転後の商店街振興策について、どう考え、どのような対策を講ずるのか

エ 移転のための予算計上をどの程度見込んでいるのか、また、規模はどのくらいか、さらに、中央公民館を移転した場合、文化会館の運営及び利用方法はどうか

(3) 秋田商業高校の将来展望について

ア 同校の将来展望を県の学校再編を含めどう考えているのか

イ 教職員の研修派遣事業と人事の交流をどう改善したのか

ウ 男子生徒の減少と進路の多様化にどう対応しているのか

エ 国際情報科及び国際経済科の創設について

(4) 学校裏サイトについて

ア トラブルや犯罪被害防止のため、ネットパトロールの強化や各学校にどのような指針等を示しているのか

イ 携帯電話の所持禁止について、考え方と対応はどうか

(5) 教育委員会関連施設の指定管理者制度への移行について、おこなっている理由と課題は何か、また、移行する時期はいつか

4 農商工連携対策について

(1) 本市農政の課題と展望及び戦略的農業施策の展開をどのように考えているのか、また、どれほどの決意と情熱で農業を守るのか

(2) 農業の活性化を図るため、農商工連携の推進と本市の取り組み及び決意はどうか

(3) 飼料作物生産と活用について

(4) 自然エネルギーを核とした、産・学・官を含めた生産基地づくりのプロジェクトや機関を設置すべきでないか

(5) 農産物を含めた、物産展出店についての取り組み及び商品開発について

1 市長の行財政運営について

- (1) 今後の財源確保の取り組み及び21年度の地方交付税を含む財政見通しについて
- (2) 一国二制度について
 - ア 総論賛成各論反対の状況にある本制度に対する本市のスタンスについて
 - イ 本制度に対する市民の期待度及び理解度について

2 農業施策について

- (1) 秋田米のトップブランド化の促進、農業基幹施設の整備・低コスト化及び高能率生産の推進に向けた取り組みについて
- (2) 農業機械の購入補助制度の拡充による大豆収穫用農業機械の不足解消について
- (3) 米粉の普及について
 - ア 本県、本市における米粉の普及及び流通状況について
 - イ 製粉機購入に対する助成について
- (4) 市単独補助事業の土地改良の継続について

3 雇用対策について

- (1) 雇用環境の改善及び正規雇用の拡大に向けた対策について
- (2) 企業誘致等における地域間競争に打ち勝つための本市の優位性を生かした方策及び関係機関との連携について

4 人口増に向けた対策について

- (1) 若者の定住促進を含めた出生率向上への取り組みについて
- (2) 第11次総合計画のさらなる推進による交流人口の拡大について

5 災害対策について

- (1) 災害時における大型ショッピングセンターとの協力体制及び災害協定の締結状況について
- (2) 医療機関及び秋田市医師会と連携した災害時における医師確保体制について
- (3) 災害時における廃棄物処理への対応について

6 地域の諸課題について

- (1) 岩見三内小学校及び岩見三内中学校について
 - ア 小中併設校における小中一貫した考えに立った教育の具体的な学校運営について
- (2) 地域個性発揮事業の終了について
 - ア 3年間での自立を目指した岩見三内コミュニティ活動事業の検証結果及び自立への支援について
 - イ 岩見三内コミュニティ活動事業に対する新たな助成について
- (3) 地域公共交通の確保について
 - ア 秋田市河辺地域公共交通研究会における協議の進捗状況及び今後の方向性について
 - イ 地域住民との話し合いによるニーズに即した交通施策への取り組みについて
 - ウ 岩見三内線と太平線を組み合わせた路線及び大学病院や秋田赤十字病院を経由する路線について

1 市長の市政運営について

- (1) 全国市長会会長に就任後 2 年目を迎えたが、会長に就任したことにより秋田市民に対してどのようなメリットがあったのか
- (2) 市長就任時に比べ、どの程度、市民生活が豊かになり、経済状況が向上したと認識しているのか
- (3) 本市の経済の向上に向け、どのような対策を講じてきたのか、また、独自の経済対策を展開すべきと考えるが、どのように取り組んでいくのか
- (4) 特別職の給与減額に取り組むべきではないか
- (5) 定額給付金に対する考えはどうか、また、実施された場合、事務処理にどの程度の経費を要するのか

2 消防について

- (1) 市職員の救命講習の受講の促進と A E D（自動体外式除細動器）の普及について
 - ア 職員の救命講習の受講状況と受講促進に向けた取り組みについて
 - イ 公共施設への A E D の設置基準及び設置計画の進捗状況について
 - ウ 大型店舗や事業所など、人が集まる場所に設置されている A E D の数及び設置促進に向けた取り組みについて
- (2) 火災予防について
 - ア 大阪市で発生した個室ビデオ店の火災を受け、本市においても個室がある同様の店舗を調査した結果、消防法違反があったことが判明したが、その後、どの程度改善されたのか
 - イ 大阪市の事件は、防火管理体制が機能していなかったため被害が拡大したと考えられるが、本市においては、防火管理体制を含め、どのように火災予防対策を講じているのか
- (3) 消防職員委員会について

ア 消防職員委員会の開催状況と提出された意見の件数について

イ 提出された意見のうち、実現した割合はどの程度か、また、どのような意見を消防事務に反映させたのか

ウ 消防職員委員会の機能の充実にについて

(4) 市職員の消防団への入団を促進するため、市長が職員に対して入団を働きかけるべきではないか

3 中通一丁目地区市街地再開発事業について

(1) なぜ本事業が必要なのか

(2) これまで本事業に要した事業費は幾らか

(3) 本事業の実現性とリスクをどう認識しているのか

(4) 本事業が難航した場合の本市の責任範囲について

4 財政について

(1) 財務諸表の整備状況について

(2) 中長期的展望に立って財政運営上の課題を分析し、財政構造の抜本的な改善を図るべきではないか

(3) 歳入確保について

ア 未収金対策の強化について

イ 下水道使用料の誤徴収による遡及請求について、不納欠損とならないよう最大限努力すべきであるが、どのように取り組んでいるのか、また、再発防止に向けてどのような対策を講じているのか

ウ 公共施設における営利目的使用の促進について

(4) 20年3月31日に23億円を借り入れ、翌4月1日に同額を返済しているが、なぜこのような資金運用をする必要があるのか

(5) 高利債の繰上償還に取り組むべきではないか

(6) 市債償還のピークはいつ迎えるのか、また、その時の実質公債費比率は何％になると想定しているのか

5 地上デジタル放送への対応について

- (1) 生活弱者に対し、デジタル化対応を支援する方策を講じるべきではないか
- (2) 市有施設におけるデジタル化対応に向けた取り組みについて

6 公共交通施策について

- (1) 路線バス廃止に対する対応策について

7 観光振興について

- (1) 観光入込客数の現状と今後の見込みについて
- (2) 経済効果を生むための取り組みについて
- (3) 石油博物館の建設について

8 新しい住民自治のあり方について

- (1) 市民協働・都市内地域分権を進めるに当たり、地域住民と協議、調整する市職員は、どのような適性、キャリア等を備えているべきと考えているのか
- (2) 地域活動の支援者となる市職員には、コミュニケーション能力や地域事情に精通していることが求められ、その責任は非常に大きいが、どのように職員を育成するのか
- (3) 市職員は積極的に地域住民と接していくべきと考えるが、どのような姿勢で取り組んでいくのか

9 窓口対応の充実について

- (1) たらい回しのない、適切で迅速な窓口対応を目指し、ほかの課の業務も理解を深めるよう職員を育成すべきと考えるが、どのように取り組むのか

10 教育行政について

- (1) 岩見三内小学校の増改築に当たり、木材をふんだんに活用した温かみのある校舎として整備してはどうか
- (2) 地域の小中学校において、国際教養大学の教育力を活用した交流をすべきではないか

11 新庁舎建設について

- (1) 秋田杉を建材に活用するなど、地域色が豊かな庁舎を目指してはどうか

12 保育所運営に対する支援について

- (1) 保育所の定員拡大に伴う施設整備に当たっては、十分な財政的支援をすべきではないか

13 後期高齢者医療制度について

- (1) 制度導入から半年以上が経過した現在、本制度に対する市民の不安は解消されたのか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 「食料と農業・農村」に対する考え方について
- (2) 21年度予算編成の考え方について
- (3) 市町合併の評価と今後の課題について

2 秋田市制120周年記念事業と歴史文化施設の整備について

- (1) 秋田市制120周年記念事業の取り組みについて
- (2) 市制施行120周年を契機とした歴史文化施設の整備について
- (3) 中通一丁目地区市街地再開発事業の進捗状況と公共公益施設について

3 第132回秋田県種苗交換会の開催と関連施策について

- (1) 本市における第132回秋田県種苗交換会の開催について
- (2) 農商工等連携促進法施行後の農商工連携の考え方と今後の取り組みについて
- (3) 種苗交換会開催を契機とした小中学校における「郷土愛を育てる教育」と「農業と食に関する教育」の充実について
- (4) 家族・地域の絆づくりの一環としての、都市と農村・生産者と消費者を結ぶ仕組みづくりについて

4 行財政運営について

- (1) 20年度における歳入見込みと21年度の歳入見通しについて
- (2) 補助金施設の目的外使用にかかわる規制緩和の動向と、転用等が想定される施設や考え方について
- (3) 公民館と市民サービスセンターの今後のあり方について

5 地域の諸課題について

- (1) 本田橋の架け替えと都市計画道路上北手雄和線について
- (2) 循環バス「ユーグル」などの雄和地域における代替交通について
- (3) 種平小学校など小中学校の適正配置について

1 市長の政治姿勢について

(1) 20年度に重点的に取り組む事項について

ア 現時点における「産業経済の振興」「対岸貿易基盤の確立」「中心市街地の活性化」に対する取り組みの成果はどうか

イ 経済状況が激変している中で各事項にどのように取り組んでいくのか

(2) 定額給付金について

ア 定額給付金制度について、今回示された事業概要の素案を市長はどのように考えるのか

イ 給付事務に当たりさまざまな問題が指摘されているが、現時点で想定される課題とその対応策はどうか

(3) 組織体制について

ア 組織をスリム化し、少数精鋭の組織に見合った職制を確立すべきではないか

イ 市民サービスセンターの設置に伴う機能と権限・人員配置について

2 財政について

(1) 主要財政指標の硬直化について

ア 経常収支比率、公債費比率、義務的経費比率、実質公債費比率について、19年度と比較して20年度の見込みはどうか

イ 指標がどう変動し、改善を要する場合にはどう対応していくのか

(2) 収納率向上対策について

ア 20年度において市税の収納率向上対策にどのように取り組んでいるのか

イ 未収金対策連絡協議会において今後の収納率向上対策について、どのような検討がなされているのか

3 中通一丁目地区市街地再開発事業について

(1) 市街地再開発組合の設立について

ア 組合設立に関する取り組み状況について

イ 組合設立に際して、現在準備組合が抱えている借入金とその取り扱いについて

ウ 組合への再開発事業関連経費の助成に当たっては、本市として重大な決意を持って対処すべきと考えるかどうか

(2) 景気後退による投資減退の中における民間施設の推進体制について

ア 「中通一丁目地区第一種市街地再開発事業参画に関する基本合意書」における準備組合、株式会社丹青社、株式会社丹青モールマネジメント及び秋田まちづくり株式会社の関係について

イ 秋田まちづくり株式会社に対する、株式会社丹青社の資本参加の目的と資本比率の考え方について

ウ 秋田まちづくり株式会社の資本調達先は、地元銀行が想定されているのか

エ 株式会社丹青モールマネジメントは、本事業にどのような役割を果たすのか、また、長期にわたってかかわることをどのように考えているのか

(3) 特定業務代行について

ア 特定業務代行とはどのようなものか、また、そのメリットと特定業務代行者の選定はどのように行われるのか

4 消防防災行政について

(1) ゲリラ豪雨時の災害対策について

ア 119番の受信体制と、通報が殺到した場合に救急要請が混同しないための対応策はどうなっているのか

イ 道路や河川敷内にある公園施設などで、冠水や増水により危険が予想される箇所を把握しているのか、また、危険が迫った場合の対

策はどうか

ウ 危険箇所を明記したマップの作成や「気づきマップ」「逃げどきマップ」などを作成すべきと考えるがどうか

(2) 林野火災への対応について

ア 火災発生時の情報収集や水利の確保など、その消火活動と対応策はどうか

イ 20年において、火災時は地域の消防団員へはどのような連絡体制をとったのか、また、出動した団員数はどうであったのか

ウ 今後の予防策をどのように考えているのか

(3) 大規模・特殊災害時の緊急消防援助隊の活動について

ア 岩手・宮城内陸地震発生の際、本市消防本部の派遣規模と任務はどうであったのか、また、隊員の安全確保と十分な援助活動ができたのか

イ 本市に大規模・特殊災害が発生した場合、緊急消防援助隊による応援をどのように想定しているのか

5 秋田市公共交通政策ビジョンの策定について

(1) 秋田市公共交通政策ビジョンの基本方針は何か、また、その具体策をどのように考えているのか

(2) 交通事業を取り巻く環境が激変している中で、交通事業者をどのように関係づけているのか

(3) 秋田市総合交通戦略との整合性はどうか

6 「絆づくり」について

(1) 団塊世代が「人と人との絆」を次世代へ伝える最後のとりでと思うが、その見解はどうか、また、次年度はどう進めていくのか

(2) 21年の市制120周年を契機に、「家族の日」を本市独自の市民総参加「絆の日」と改め、市民に働きかけてはどうか